

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	567 県営事業負担金	会計	01	一般会計
基本	42 持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
策		項	01	農業費
		目	05	土地改良事業費
細目	5 農業生産基盤の整備	細目	104	県営土地改良事業
細々目		02	県営事業負担金	
基本計画該当頁		160		行革大綱の重点事項番号
		4		
担当部課	コード	160400	評価者	北山 太加視
	名称	産業振興部 農村整備課	氏名	連絡先
				22 - 9668 (内線) 2720

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
農地、農道、農業用水路、ため池等農業用施設と農業者、農業団体 (※対象件数)	ほ場、農道等の整備率が向上し、農業用施設に係る維持管理費が軽減できる。県営事業の採択に伴ない受益者負担の軽減と受益地内の農作業効率改善される。
根拠法令・要綱等 伊賀市における三重県営土地改良事業に係る分担金徴収条例、伊賀市における三重県営ほ場整備事業に係る分担金徴収条例	
開始年度 平成 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
事業内容 広域農道:伊賀二期地区、伊賀三期地区 農免農道:上野依那古二期地区 ため池用排水:阿山2期地区 ふるさと農道:上之庄地区 経営体育成基盤整備:中瀬川南地区、玉滝地区 新農業水利システム:服部川用水地区、伊賀北部地区 農村振興総合整備事業:伊賀地区 基幹水利施設ストックマネジメント事業:青蓮寺用水地区 地すべり防止事業:府中5期地区	状況変化等 広域農道については、平成22年度完了予定。一部用地取得で事業遅延、当初完了予定を2年間事業期間延長を行った。 ※農村振興総合整備事業伊賀地区 伊賀市・名張市を含む広域圏の事業、生産基盤、生活環境整備を行う。 ※基幹水利施設ストックマネジメント事業 国営事業で造成した基幹水路の漏水対策等を行い、施設の長寿命化と管理システムの更新を行う。

整備内容

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	Ⅲ	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
		目標	実績	目標	実績
		目標	実績	目標	実績
		目標	実績	目標	実績
		目標	実績	目標	実績

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
伊賀広域農道整備率	整備計画延長(44.8km)に対する完成延長に対する率とする。	%	目標 84.7 実績 84.7	目標 88.4 実績 88.4	95	100
伊賀市水田のほ場整備率	伊賀市の水田面積に対する一般ほ場区画(30a)の整備率を達成度とする。	%	目標 95.3 実績 95.3	目標 97.6 実績 97.6	97.6	97.6

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	伊賀市総合計画、伊賀市田園環境整備マスタープランに基づき整備を推進する必要がある。国費、県費補助による整備で受益者負担の軽減と市費負担の軽減を図れる。
有効性	4	補助事業による整備及び適切な改修を推進することで施設の長寿命化と維持管理費の軽減を図ることができる。
達成度	4	ため池等整備事業 阿山2期地区 経営体育成基盤整備事業 玉滝地区が事業完了できた。その他の各事業は計画通り進捗している。
効率性	3	農業農村整備事業コスト削減マニュアルに基づき事業を推進している。年度毎の整備計画を着実に推進している。また、事業期間の短縮で経済効果の早期発揮を要望している。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	国や県の補助を受けていることで、地元及び市負担の軽減が図れるため、今後も大規模な整備や補修は積極的に県営事業を推進する。また、コストの縮減について一層の縮減を図るよう県へ要望する。

年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容						
	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額				
進捗状況	委託 工事	事業内容	広域農道	1	式	44,550	広域農道	1	式	59,400	広域農道	1	式	25,476	農免農道	1	式	14,515	ため池等整備	1	式	14,700
			農免農道	1	式	20,399	農免農道	1	式	25,499	農免農道	1	式	38,198	ため池等整備	1	式	11,550	基幹水利施設ストックマネジメント	1	式	6,563
			ため池等整備	1	式	7,954	ため池等整備	1	式	1,075	新農業水利システム	1	式	9,188	新農業水利システム	1	式	22,313	新農業水利システム	1	式	8,531
			その他	1	式	19,682	新農業水利システム	1	式	15,750	農村振興総合整備	1	式	25,725	農村振興総合整備	1	式	52,500	農村振興総合整備	1	式	52,500
			新農業水利システム	1	式	12,469	農村振興総合整備	1	式	51,358	基幹水利施設ストックマネジメント	1	式	6,432	基幹水利施設ストックマネジメント	1	式	13,125	基幹水利施設ストックマネジメント	1	式	7,875
			農村振興総合整備	1	式	25,176	基幹水利施設ストックマネジメント	1	式	4,116	県営ふるさと農道	1	式	1,313	県営ふるさと農道	1	式	13,875				
			県営ふるさと農道	1	式	26,483	県営ふるさと農道	1	式	1,065	経営体育成基盤整備	1	式	5,219	ため池等整備	1	式	3,465				
			経営体育成基盤	1	式	29,218																
進捗率(%)																						
事業費計(A)			Σ	156,713	事業費計(A)	Σ	187,481	事業費計(A)	Σ	112,452	事業費計(A)	Σ	168,952	事業費計(A)	Σ	94,971	事業費計(A)	Σ	87,938			
事業投入人員			人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200
フルコスト(A)+(B)					163,913			194,681			119,652			176,152			102,171			95,138		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	156,713	187,481	112,452	168,952	94,971	87,938
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債	122,100	133,700	93,700			
受益者負担	14,492	3,281	2,756	15,566	9,450	1,500
その他						
一般財源	20,121	50,500	15,996	153,386	85,521	86,438
計	156,713	187,481	112,452	168,952	94,971	87,938
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	広域農道25%、ふるさと農道35%、農免23.3%、新農業水利S:市・地元12.5% ため池:市10%、地元9~10%、ほ場整備:市10%、地元12.5%	広域農道25%、ふるさと農道35%、農免23.3%、新農業水利S:市・地元12.5% ため池:市10%、地元9~10%、ほ場整備:市10%、地元12.5%	広域農道25%、ふるさと農道35%、農免23.3%、新農業水利S:市・地元12.5% ため池:市10%、地元9~10%、ほ場整備:市10%、地元12.5%	広域農道25%、ふるさと農道35%、農免23.3%、新農業水利S:市・地元12.5% ため池:市10%、地元9~10%、ほ場整備:市10%、地元12.5%	広域農道25%、ふるさと農道35%、農免23.3%、新農業水利S:市・地元12.5% ため池:市10%、地元9~10%、ほ場整備:市10%、地元12.5%